

宇治市学校給食センター整備事業

審査講評

令和 5 年 11 月

宇治市学校給食センター検討委員会

# — 目 次 —

1. 審査体制.....	1
2. 検討委員会の開催経過.....	1
3. 審査結果.....	1
3.1. 参加資格審査（第一次審査）.....	1
3.2. 提案内容審査（第二次審査）.....	2
3.3. 提案金額の適格審査.....	3
3.4. 提案金額の得点化.....	3
3.5. 総合評価.....	3
3.6. 審査講評.....	4
3.7. 総評.....	4

## 1. 審査体制

宇治市（以下「市」という。）は、提案内容の審査に関して、幅広い専門的見地からの意見を参考とするために、学識経験者等により構成される「宇治市学校給食センター検討委員会」（以下「検討委員会」という。）を設置した。

検討委員会の構成は、次に示すとおりである。

【検討委員会の委員】

委員長	宮崎 ひろ志	関西大学環境都市工学部 建築学科 専任講師
副委員長	坂本 裕子	京都華頂大学現代家政学部教授
委員	鳥巢 茂樹	武庫川女子大学建築学部教授
〃	吉本 優子	京都府立大学大学院生命環境科学研究科准教授
〃	貝 康規	宇治市総務・市民協働部長
〃	五十嵐 司	宇治市建設部長
〃	福井 康晴	宇治市教育部長

## 2. 検討委員会の開催経過

検討委員会は計3回開催した。開催日と主な議題は次に示すとおりである。

【検討委員会の開催日及び審議等の事項】

検討委員会	開催日	主な議題
第1回	令和5年4月18日	事業概要について、スケジュールについて、実施方針等について、事業者選定基準の作成方針について
第2回	令和5年6月14日	スケジュールについて、事業者選定基準の作成方針について、最優秀提案者選定の進め方について
第3回	令和5年10月31日	第3回検討委員会の進め方について、基礎項目審査結果について、事業者ヒアリング、提案内容に関する意見交換及び最終採点、評価点の算定及び最優秀提案者の選定

## 3. 審査結果

### 3.1. 参加資格審査（第一次審査）

3 グループから参加資格審査書類の提出があり、市は参加者が備えるべき参加資格要件（募集要項に規定されている要件）を3グループとも満たしていることを確認し、検討委員会は報告を受けた。

### 3.2. 提案内容審査（第二次審査）

#### (1) 見積書類及び提案書類の確認

下記のグループから見積書類及び提案書類が提出され、市が必要書類に不備がないことを確認し、検討委員会は報告を受けた。

なお、性能審査における評価の際は、参加グループ名、企業名等を伏せ、参加受付後に配布した受付番号により、全ての審査を行った。

グループ名	受付番号	構成員	
村本建設 グループ	A	代表企業	村本建設株式会社 京都営業所
		構成企業	玉井建設株式会社
		構成企業	株式会社ユイビルド
		構成企業	パシフィックコンサルタンツ株式会社 京都事務所
		構成企業	タニコー株式会社 京都営業所

※参加資格審査を受け付けた3グループのうち、2グループは提案の参加を辞退した。

※以下、「村本建設グループ」はAグループという。

#### (2) 基礎審査

上記のグループから提出のあった提案書の内容が、基礎審査の審査項目を充足しているかを市が確認し、検討委員会は報告を受けた。

基礎審査では、事業者選定基準に示す基礎審査の審査基準を満たしていることを確認した。

#### (3) 性能審査

上記のグループの提案内容のうち、市が特に重視し、かつ検討委員会が審査した項目（性能審査項目）に関して、その提案が優れていると認められるものについては、その程度に応じて、以下に示す判断基準により検討委員会が性能点を付与した。

評価内容		採点レート
A	要求水準書の記載を超える提案がなされており、その内容が特に優れている	当該項目の配点×100%
B	AとCの中間の提案内容	当該項目の配点×75%
C	要求水準書の記載を超える提案がなされており、その内容が優れている	当該項目の配点×50%
D	CとEの中間の提案内容	当該項目の配点×25%
E	要求水準書の記載を超えない提案内容	当該項目の配点×0%

性能審査の結果は、以下のとおりである。

区分	評価項目	配点	Aグループ	
性能点	1. 事業方針	事業実施方針、実施体制、地域社会・地域貢献への配慮	120	97.5
	2. 施設整備に関する提案	全体計画（造成計画、配置計画、動線及び外構計画）	80	60.0
		衛生管理、作業環境、アレルギー対応食、食育、調理設備	280	210.0
		防災への配慮、ライフサイクルコスト、施工計画	170	115.0
	3. 開業支援に関する提案	開業支援	50	37.5
	性能点計	700	520.0	

### 3.3. 提案金額の適格審査

見積書に記載された提案金額が上限額を超えていないことを市が確認し、検討委員会は報告を受けた。

### 3.4. 提案金額の得点化

提案金額を対象として、以下に示す方法に基づき価格点を付与した。

$$\text{価格点} = 300 \text{ 点} \times (\text{最低提案金額} / \text{当該提案金額})$$

項目	Aグループ
提案金額（税抜）	3,272,690,000 円
価格点	300

### 3.5. 総合評価

検討委員会は、次表のとおり総合評価点を算定し、Aグループ（村本建設グループ）を最優秀提案者として選定した。

項目	Aグループ
性能点	520
価格点	300
総合評価点	820
順位	1

---

### 3.6. 審査講評

#### (1) 事業方針に関する提案

- ・ 市の考えを踏まえた取り組み姿勢やグループの各構成員の実績等のほか、市内業者を積極的に活用するといった提案が評価された。

#### (2) 施設整備に関する提案

- ・ 安全面や衛生面の配慮において床の色分け等によるゾーニングの明確化や、衛生度の高い室から低い室に空気が流れるよう換気設備を計画する提案が評価された。特にアレルギー対応調理室は最も空調圧力を高めるよう計画し、空気の流入による浮遊アレルギーの混入も防止するといった提案が評価された。
- ・ 幅広い調理が可能なアレルギー対応調理室として、調理室を隔壁で区画した複数のブースを設置や、確実な配食を行うための独立した配膳室を設置した提案が評価された。
- ・ 食育推進に資する研修室等の配置とともに、調理室全体を見渡せる見学通路の計画、調理エリアへの複数の WEB カメラの設置やアクションカムの導入等調理工程を配信できる提案が評価された。
- ・ 施工計画について、安全管理や周辺環境への影響を抑える工夫などのほか、供用開始時期を遵守するための各種方策などの提案が評価された。

#### (3) 開業支援に関する提案

- ・ 開業支援について、開業後も配慮した責任者の配置などの提案が評価された。

### 3.7. 総評

本事業へ参加したグループの提案内容は、本事業で求める要求水準を満たし、それぞれの項目においてこれまでの学校給食センターの施工実績等に基づく創意工夫が見られ、優れた提案であった。

今後、A グループが本事業を実施するにあたり、市の要求水準や検討委員会から評価された具体的な提案内容を確実に実行することは当然のこと、本事業をさらにより良いものとするため、次の事項に留意して事業を実施することを検討委員会として要望する。

- ・ 造成工事や基礎工事等について、十分な調査をした上で施設整備を進めていただきたい。
- ・ 供用開始後の設備等を更新する際に、円滑に更新できるよう動線等、一層の配慮をした上で施設整備を進めていただきたい。
- ・ 見学通路等に設置する展示物について、市の担当者と十分に協議をした上で、より食育に効果的な展示物を設置していただきたい。

最後に検討委員会として、本事業が順調に実施され、官民が連携しあい、相乗効果を図りながら「安全安心でおいしい学校給食」を実現する事業となることを祈念する。